

# 報告 市政

発行:長島有里事務所  
〒249-0005  
逗子市桜山9-3-41  
046-801-5318 (電話兼FAX)  
E-mailはこちら  
yuri\_nagashima@yahoo.co.jp



## 長島 有里

(ながしま ゆり)  
逗子市議会議員 2期目  
鎌倉高校卒  
立教大学法学部卒  
民主党逗子市議団  
長女13歳、次女3歳の2児の母  
趣味 ダンス、料理  
1978年11月22日生まれ 32歳 O型

## 逗子市民がこれ以上 損をしないための 処方箋とは？

### コンビニで住民票が取れない

平成23年からコンビニエンスストアのコピー機で住民票や印鑑登録証明書が受けられるサービスがスタートします。このシステムに加入した自治体の市民は、そのコピー機が置いてあるコンビニであれば全国どこでも365日24時間住民票をとることができます。ところが、逗子市はイニシャルコスト(初期投資約3700万円)を理由に先送りの方針を出しています。このため、例えば2月からは藤沢市民や座間市民が「逗子のコンビニで住民票を受け取れる」のに、「逗子市民が利用できない」というもどかしい事態が生じます。この点を議会で質しました。

長島 Q. 全国の自治体でこうしたサービスが当たり前を受けられる時代が来ると思うが。  
平井市長 A.本市は面積も狭く自転車でも市役所にすぐとりにいける距離。

**総括:**365日24時間対応というだけでなく、東京に勤務する逗子市民のサラリーマンが会社の近くのコンビニで住民票を取得できることにもなります。逆に、このまま加盟しないと逗子市民だけがそのサービスを利用できないということになります。是非早急な対応で市民の利便性を向上させることが求められています。



←実際、逗子市内の一部コンビニには、住民票が受け取れる機械が設置されています。(逗子ではシステムに加入していないためコンビニではまだ受け取れません。)

## 税金のムダ全廃について

税金の「ムダ全廃」という観点からどれだけクリーンでオープンな入札が行われているか質しました。

とくに、国の事業仕分けで問題視された「下見積もり」が官製談合を誘発しているとされる件についての、逗子市役所における初検証です。

職員が予算をつくる際、独自に積算ができない場合は事業者に対して下見積もりを依頼し、その価格を参考に予算や予定価格をつくります。

ところが、下見積もりを作成した事業者は、事前に事業発注において市が何を求めているのかを事前に察知してしまうことができるため優位にたってしまいます。このため、一社しか見積もりを徴収しないことは適正な入札の妨げになります。例えば、逗子市が11月の議会でかうじて一部公開した情報だけを分析しても・・・。

<平成21年度 見積もり業者と落札業者が同じ入札結果の一例>

件名	予定価格	落札価格	落札率	業者名
漁港改修工事	2,200,000	2,200,000	100%	T社
備蓄食料ビスケット購入	1,380,000	1,379,456	99.96%	S社
脱臭剤購入	1,800,000	1,788,000	99.33%	M社
し尿処理ペットボトル処理業務	43,320,000	42,362,350	97.79%	Z社
小学校ガラス飛散防止工事	1,840,000	1,785,000	97.01%	W社

もちろん、上記の入札結果は市の職員が1社しか見積もりを徴収せず、落札した事業者も同じという、あるまじき結果となっています。

特許を独占していて、その会社しかできないなどの大義があるならば理解できます。しかし、複数の競争相手がいるにもかかわらず、1社しか見積もりをとらないということは、みなさんのご家庭に置きかえてもしないことと思います。このような強い疑問と憤りの思いを持って議会で質しました。

長島 Q.なぜ、情報公開しないのか。  
梶谷総務部長 A.慎重に判断していきたい。  
長島 Q.予算や予定価格を積算する際に下見積もりを徴収する際は複数社にとることを庁内に徹底すべきではないか。  
梶谷総務部長 A.あらためて徹底していく。



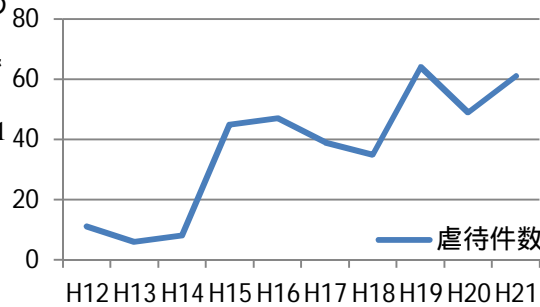
**総括:**逗子市が過去、情報公開透明度ランキング1位を獲得してきたにもかかわらず、この問題については「透明性」という視点からは逆行した対応をしています。まさか蓋を開けたら氷山の一角となっていないことを願っていますが、この問題は同じ会派の仲間(高野たけし議員、匂坂ゆうじ議員)とチームで取り組んでいくことにしています。是非、こういうムダを省き、コンビニでの住民票の受け取りサービスなど他の自治体でできるサービスをしてもらいたいものです。

## 痛ましい記事をもう見なくてすむために

相次ぐ児童虐待事件。幼い命をなんとか助けてあげることができなかったのかと報道があるたびに心を痛めている方も多いのではないのでしょうか。本市でも相談件数、要保護児童数が増加傾向にあります。(虐待相談件数H21年度3289件、保護が必要と判断された児童221人)

そこで児童虐待対策の安否確認と児童相談所との連携について質しました。

逗子市児童虐待受理件数(児童相談所調べ)



長島 堀尾福祉部長 Q.虐待通報のあったすべての児童の安否確認を行っているか。  
A.48時間以内に安否確認を行っている。ただ詳細がわからないものについては、まっさきに家庭訪問するのではなく関係機関から情報を入手して対応している。

総括: 実は、児童虐待については歯医者さんが学校の歯科検診で中で虐待のサインを見つけることが間々あります。こうした歯医者さんと児童相談所との連携が不十分な点も改善するよう重ねて提言したところです。

## 子育てパママのライフラインを急げ

女性の社会進出、そして不況による共働き世帯の増加で、子育てしながら安心して働く環境整備がこれまで以上に求められています。病児、病後児保育は仕事と家庭を両立しなければならない家庭にとってはライフラインとも言えるほど不可欠な支援策。

平成22年に政府が打ち出した「子ども・子育て応援プラン」には病児保育の利用者数について、平成20年度31万人から平成26年度は200万人へと目標値を掲げ改善方針を打ち出し、補助金の拡充が図られています。

長島 Q.近隣市では病児・病後児保育の整備が進められている。本市では取りくみがなされないのはなぜか。  
平井市長 A.ニーズがあることは承知している。しかしさまざまな課題があり、今後精査を重ねて検討していきたい。

総括: 鎌倉市では病児保育施設がありNPO団体に委託、葉山町ではファミリーサポートの会規則を変更し事実上病児保育を実施することにしています。逗子だけが取り残されることのないように今後も提言してまいります。



ご意見お待ちしております!

ご記入欄

お名前:  
ご住所:〒

連絡先  
E-mail:  
お電話:

個人情報保護法上、記入いただいた個人情報は、当方からのご連絡以外の目的で使用することはありません。

撫湯

Fax 046-801-5318  
E-mail yuri\_nagashima@yahoo.co.jp

## ~政治資金のガラス張り~

政治には一体いくらお金がかかって何に使うのか!?

平成22年収支報告書

収入	政党からの交付金	¥210,000
計		¥210,000
支出	消耗品費	¥3,169
	組織活動費	¥2,920
	会合参加費	¥38,850
	機関紙発行費	¥74,760
	宣伝事業費	¥5,467
	調査研究費	¥4,834
計		¥130,000
繰越金		¥80,000

政治献金は、企業はもちろん個人の献金、カンパも含めて一切いただいておりません。



長島有里が必ず拝読いたします。



民主党

長島有里オフィシャルサイト <http://nagashimayuri.com/>



逗子市議会議員 長島有里

### 【編集後記】

平成22年より国会議員の政治団体の収支報告書が総務省のHPで誰でも閲覧できるようになりました。神奈川県内の地方議員の収支報告書も平成22年から県選管のHPで閲覧できます。  
これまでは県の選管まで出向き、情報公開しなければ見ることができなかったものが、自宅でもどこでも見ることが出来ます。  
1億総オンプズマンですね。  
献金という手段での政治参加の面は否定しませんが、アメリカのように顔の特定されないインターネット献金などが確立されない限り、やはりお金を受け取ってしまえば一部の人の利益を優先した政治がおこなわれてしまう恐れがあると思います。  
今回私の昨年度収支報告も掲載させていただきました。クリーンな政治の風をこの逗子から吹かせていきたいと思っております。